

春野の子供を伸ばす
家庭学習・学校生活の手引き

—自ら学び、自ら考える春野の子供を育てるために—



春野地区小中学校では、「春野を誇りとし、夢や希望に向けて粘り強く努力する子供」を目指しています。そこで、小学校では、子供たちの学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力が伸びていくと考えています。小学校で身に付けた自ら学習する習慣を、中学校では、自主的・計画的な家庭学習ができる力へと向上させていきたいと考えています。

そこで、この手引きを作成しました。親子でお読みいただき、家庭学習にお役立てください。

春野地区小学校

1 家庭学習の意義

家庭学習がなぜ必要なのでしょう。家庭学習によって、次のような教育的効果が期待できます。



① 学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に、漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学習内容の定着が自信につながります。

② 自ら学ぶ習慣を付ける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら学ぶ習慣が身に付きます。少しずつでも継続することが大きな力につながります。

③ 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。

④ がまん強さ・根気・集中力を付ける

家庭学習の最大の敵は、テレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。

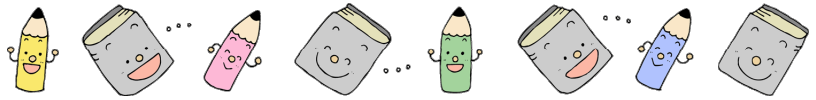
⑤ 家族のふれあい

家庭学習をしている子供に親がかかわることにより、コミュニケーションを図ることができます。家族のふれあいの機会が増えることは、子供の精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。



2 家庭学習のポイント

家庭学習は、やり方次第で教育的効果がぐんと上がります。いくつかポイントを挙げますので、参考にしていただき、家族で十分話し合っ、家庭学習のルールを決めて取り組んでください。



① 決まった時間に毎日コツコツ行う

家庭学習は毎日続けることが大切です。習い事やお出かけなどで予定が組みにくい日もあると思います。そんな時は、先に済ませる、テレビやゲームの時間を少なくするなどの工夫も必要になってきます。

② 各学年の学習時間を目安に学習する

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。長時間学習することで成果が上がるとは言えません。短時間で集中して学習することが長続きのこつです。各学年の学習時間の目安を参考に集中して取り組ませてください。

③ 家庭学習をしているときは、テレビを消す

テレビを見ながら、おやつを食べながら、音楽を聴きながらの「ながら勉強」は効果が上がりません。また、テレビの音が聞こえるような環境も子供は集中できません。見たい番組を録画するなどの工夫をしてください。静かに学習できる環境をつくるのが大切です。

④ 整頓された場所で、よい姿勢で学習する

整頓された机に向かって、よい姿勢で学習するようにしてください。マンガやゲームなど、気が散るようなものが近くにあると学習に集中できません。落ち着いて学習できる環境づくりをしてください。

⑤ 子供の頑張りを認め、ほめて励ます

親や教師が、子供の頑張りを認め、ほめたり励ましたりすることによって、自信がつき、進んで学習しようと意欲が高まります。強制したり、間違いをきつく叱ったりすることは逆効果になります。

⑥ 規則正しい生活をする

「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」は、生活リズムの原則です。生活リズムを整えることが学力向上につながります。学校でも家庭でも、生き生きと元気に学習に取り組むことができるように、早く寝かせ、早く起こし、朝ごはんをしっかり取らせてください。

1・2年生の家庭学習



【学習時間の目安 15分～30分】

基本的な学習習慣をきちんと身に付けさせてください

■こんな時期です■

- 何でも知りたがっています。
- がんばったこと、よいところをほめてほしいと思っています。
- 一人で学習することや、やり方を決めることはまだ難しい時期です。



だから、**一緒にいて、やる気をおこさせましょう。**

- ☆ 一緒に、学習内容や、やり方を決めてください。
- ☆ できたことをほめることで、意欲が高まります。

ポイント

①子供の学習に関心を

「家でも勉強する」という習慣を付けてください。

- 少ない時間（例えば本読みだけ）でも一緒にやってください。
- 子供が勉強しているときに一緒にいてください。
（例えば、そばで親も読書する・同じ部屋で家事をする）
- 一緒にできないときは、後で必ず目を通してください。

②学習環境について

学習机など「いつも決まった場所」をつくってください。

- 学習中は、「サイレントタイム（テレビ・音楽を消す）」をつくってください。集中して取り組むことができます。

③家庭と学校の協力

学校からの連絡や便りを一緒に確かめてください。

- 毎日、連絡帳や学習カードを開いて、一言またはサインを書いてください。担任と家庭（保護者）で子供についての思いを共有しましょう。

自主学習の一例

国語

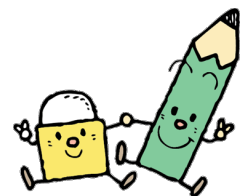
- ◇点や丸に気を付けてはっきりとした声で教科書を読む。
- ◇ひらがなやカタカナや漢字の書き順に気を付けてノートに練習する。
- ◇漢字を使って、言葉作りや文作りをする。
- ◇日付、題名を書いてからその日にあった出来事（日記）を書く。
- ◇自分で読書したり、家の人と一緒に読んだりする。

算数

- ◇たし算・ひき算・九九カードを使って計算練習をする。
- ◇たし算やひき算、かけ算を使った文章題を作って解く。
- ◇時計を見て、時刻（何時何分）や時間（何分間）を読む。

その他

- ◇生き物の世話をする。
- ◇けん盤ハーモニカの練習をする。



3・4年生の家庭学習



【学習時間の目安 30分～40分】

自ら学習に向かう習慣を身に付けさせてください

■こんな時期です■

- いろいろなことに興味を示し、行動範囲も広がります。
- 好きなことに熱中するようになります。
- 自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ手助けは必要です。



だから、**認めて、ほめて、自信を持たせましょう。**

- ☆ 家族の温かいアドバイスや励ましの言葉によってやる気を起こします。
- ☆ 宿題を見るなど手助けして応援すると、少しずつ自分でできるようになります。

ポイント

①子供の学習に関心を

がんばりを見逃さず、励ましの言葉をかけてください。

- 分からないところはいっしょに考えてください。
- 子供のちょっとしたがんばりをほめてあげてください。

②学習環境について

学習を始める時間をいっしょに決めてください。

- テレビやゲームは家族で話し合って時間やルールを決めてください。
- 「サイレントタイム（テレビ・音楽を消す）」をつくってください。

③家庭と学校の協力

学校からの便りを家族に手渡す習慣をつけさせてください。

- 帰ったらすぐに渡すなどの約束をしてください。
- 手渡しが無理な場合は、置く場所を決めてください。

自主学習の一例

国語

- ◇様子を思い浮かべて声の調子や大きさなどを工夫して読む。
- ◇漢字辞典などを使って、新しい漢字の成り立ちを調べてまとめる。
- ◇国語辞典などで熟語の意味を調べる。
- ◇ローマ字を繰り返し書いたり読んだりして覚える。
- ◇教科書に出てきた作家や同じテーマの作品を読む。



算数

- ◇テストやドリルなどで間違えた問題を分かるまでくり返しやる。
- ◇学習した図形をかく練習をする。
- ◇自分で問題を作って解いたり、考え方を図や言葉を使って説明したりする。

その他

- ◇学習して興味を持ったことをさらに調べたり、まとめたりする。
- ◇聞き取り（買い物調べ、ゴミ調べ等）や観察（生き物、天体等）をする。
- ◇リコーダーの指使いに気を付けて、きれいな音で吹けるように練習する。
- ◇日本地図を見て都道府県名を覚える。

5・6年生の家庭学習



【学習時間の目安 50分～70分】

自ら計画を立て、自力で学習を進められるようにしてください
自主勉強をする習慣を付けさせてください

■こんな時期です■

- 自分でできているので、言葉かけに配慮が必要です。
- 得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。
- 体や心も急激に変化します。バランスが崩れ、不安定になることもあります。成長を見守ってほしいと思っています。



だから、**見守って、伸ばしていきましょう。**

- ☆ 子供の話をよく聞き、成長を温かく見守ってください。
そうすることで、将来の夢や目標を持って努力するようになります。



ポイント

①子供の学習に関心を

計画を立てて自力で学習を進められるように見守ってください。

- 子供のちょっとしたがんばりをほめてあげてください。
- 他の子と比べず、昨日のわが子と比べてほめてください。

②学習環境について

自分に合った生活リズムをつくらせてください。

- 夕食前、早朝など、学習に取り組む時間帯を決めてください。
- 「サイレントタイム（テレビ・音楽を消す）」をつくってください。

③家庭と学校の協力

思春期を迎え、子供の心と体について気になることがあれば、担任や養護教諭と話し合ってください。

- 子供の話をよく聞いて、家庭と学校とで、子供の思いを共有しましょう。

自主学習の一例

国語

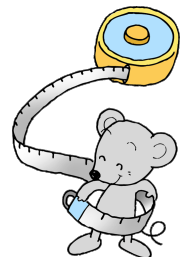
- ◇キーワード（大事な言葉や文）を意識して読む。
- ◇学習した漢字の意味を調べる。
- ◇辞書を積極的に使用し、語彙を増やす。
- ◇敬語の使い方を覚える。
- ◇いろいろなジャンルの本を読む。

算数

- ◇学習した内容をもう一度ノートにまとめ直す。
- ◇自分で作問し、自分で解く。
- ◇いろいろな解き方に挑戦する。

その他

- ◇学習した内容をノートにまとめ直す。（社会科や理科実験手順など）
- ◇教科書や資料集を使って新聞作りをしてまとめる。
- ◇予習・復習（テスト勉強、テストのふり返り）をする。
- ◇新聞記事から自分の意見や感想を書く。
- ◇パソコンで調べる。



犬居小学校 生活のやくそく

(1) 服装

○登下校時（冬）

- ・手袋、マフラー（ネックウォーマー）、ダウンジャケットなど、寒くない服装で。
- ・ただし、登校したら教室で脱ぐ。

○体育の授業（冬）

- ・気温や体調に合わせて体操服の上に長袖、長ズボンなどを着用して良い。
（厚手の物やダウンジャケット、フード付きは禁止）
- ・体操服の下にはタイツ、スパッツ、保温性の高い肌着などは着用しない。
（肌着は体操服から出ないようにする。）

(2) 持ち物

- ・授業に必要な物以外は持ってこない。
- ・防犯ブザー以外のものは、つけない。お守りを付けるときはランドセルの中に付ける。
- ・横断バッグを使用する。無い場合は、手作りの物や派手でない物を使用する。
（手提げ、ナップザック、ショルダー）
- ・筆箱に飾りはつけない。
- ・キャラクター付きや派手な文房具は避ける。
- ・シャープペン、蛍光ペンは、持ってこない。高学年は、ボールペン（赤、青）を持ってきてよい。
- ・カイロは寒さが強いときは使用してもよいが、人の目に触れないようにする。カイロを学校では捨てない。
- ・顔や目に髪の毛がかかるなど学習に支障がある場合は、ピンで留めるか、ゴムで縛る。
ゴムは、目立つものや派手なものは避ける。
- ・教科書の持ち帰りについて

- ・国算社理の教科書は、持ち帰る。
- ・置いておく教科書は、教室に保管（道具箱には入れておかない）
- ・夏休みは、道具箱、習字道具、絵の具は、持って帰る。
- ・冬休みは、習字道具以外は置いておいてもよい。

(3) その他

- ・下校時、子どもだけで他児の家に寄っていかない。
- ・家庭の事情で他児の家に子どもだけで行く場合は、学校に連絡をする。

☆お子さんの家庭学習や生活についてチェックしてみましょう！

	内 容	○ ×		
		1 学期	2 学期	3 学期
1	家庭学習をする時間帯（〇時～〇時まで）が決まっている。			
2	学年×10分間以上、学習している。			
3	学習している時は、テレビや音楽は消している。			
4	整とんされた机で学習している。			
5	学校からの配付物を家族に渡している。			
6	洗ってほしい物を出している。（自分で洗っている。）			
7	自分で明日の準備をしている。			
8	「早寝、早起き、朝ごはん」ができています。			
9	朝食を取っている。			

☆お子さんへの接し方をチェックしてみましょう！

1	少しの時間でもよいので、いっしょに学習、読書などを行っている。			
2	子供のがんばりを毎日ほめている。			
3	家庭学習カードや本読みカードをチェック（一言サイン）している。			
4	子供が学習するときは、静かな環境作り（テレビや音楽を消す）を心掛けている。			
5	子供が学習するときは、整った環境作り（整とんされた机）を心掛けている。			
6	「早寝、早起き、朝ごはん」を意識している。			